

Q・本当に役立つ防災訓練とは

A・図上訓練は11月、BCP研修は25年度以降実施

Q

いつ来るかわからない災害に備えて、各自治体は防災対策に取り組んでいる。いざという時に、計画通りの成果は未知数である。防災訓練は、次の3つに分類される。

1. 図上訓練や避難所HUGなどの机上訓練。
2. 普及啓発や地域連係を主とする自主防災訓練や町の総合防災訓練。
3. 実際の災害を想定した実技訓練。

本町も毎年防災訓練を実施している。平時においてこの訓練は必要。従って、次の点を聞く。

- ① 3種類の防災訓練についての見解は。
- ② 職員による図上訓練、BCP研修や防災講演会などの予定は。
- ③ 職員が、初動期リストの優先順位に基づき、抜き打ち訓練の実施は。
- ④ 総合防災訓練に、新規項目の導入計画は。

A

① いずれも防災意識の高揚、災害対応能力の向上など、防災力を高めるために重要な訓練と考えている。地域防災計画や総合防災訓練

等に反映するよう調査・研究を進める。

- ② 図上訓練を11月に、BCP(※)研修は、平成25年度以降に実施する。防災講演会は、地域防災研究の第一人者、名古屋大学の福和教授を招いて、12月に社会教育センター！ホールで開催する。

また、町民討議会議では、豊山町の災害想定を討議していただき、地域防災計画等の参考とする。

- ③ 平成25年度からBCPについて策定準備を開始する。従って、BCPを策定する中で検討する。

④ 平成25年度以降は、これまでの訓練内容の実績を踏まえ、より時

勢に即した実践的な内容とする。従って、今後も引き続き検討する。

※BCPとは、災害発生時にも業務を継続・早期復旧に取り組む「業務継続計画」のこと。



AEDで初の救命訓練